

令和7年度 全国学力・学習状況調査 能美市結果〔中学校〕

令和7年9月 能美市教育委員会

- 1 実施校・学年 市内3中学校 第3学年
- 2 実施日 令和7年4月17日（木）
- 3 実施内容 （文部科学省HPより引用）

（1）教科に関する調査 国語・数学・理科

＜出題範囲＞

調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。

＜出題内容＞

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生徒質問調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等 ICT 端末を用いたオンラインによる回答方式で実施する。

- 4 注意事項
調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面であることをご理解ください。
- 5 調査結果

（1）教科に関する調査の状況

【国語】

＜成果＞

- ・文脈に即して漢字を正しく使うことができます。
- ・資料やクロムブックを用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができます。

＜課題＞

- ・読み手の立場に立って、表記を確かめて文章を整えることに課題があります。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題があります。

【数学】

＜成果＞

- ・必ず起こる事柄の確率について理解ができています。

＜課題＞

- ・一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることに課題があります。
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。

【理科】

＜成果＞

- ・小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の方を見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができます。

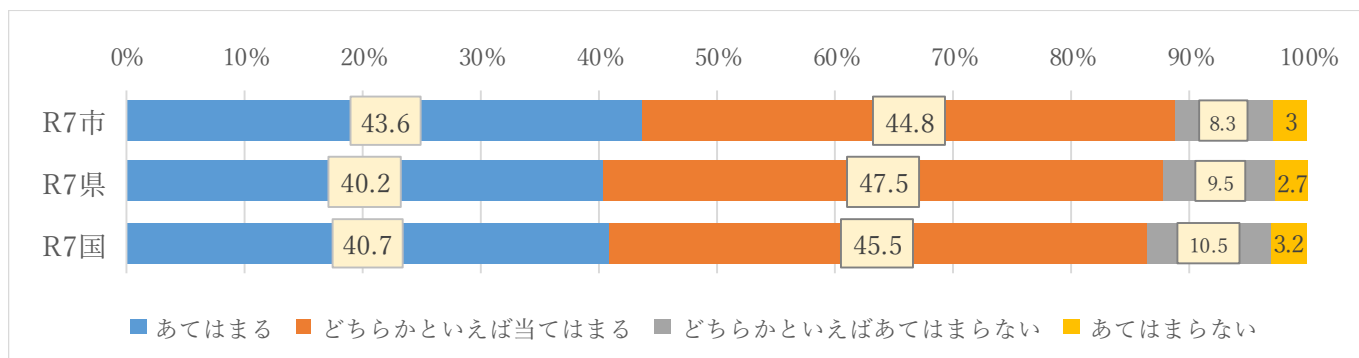
＜課題＞

- ・身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題の設定に課題があります。
- ・気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いているかどうか課題があります。

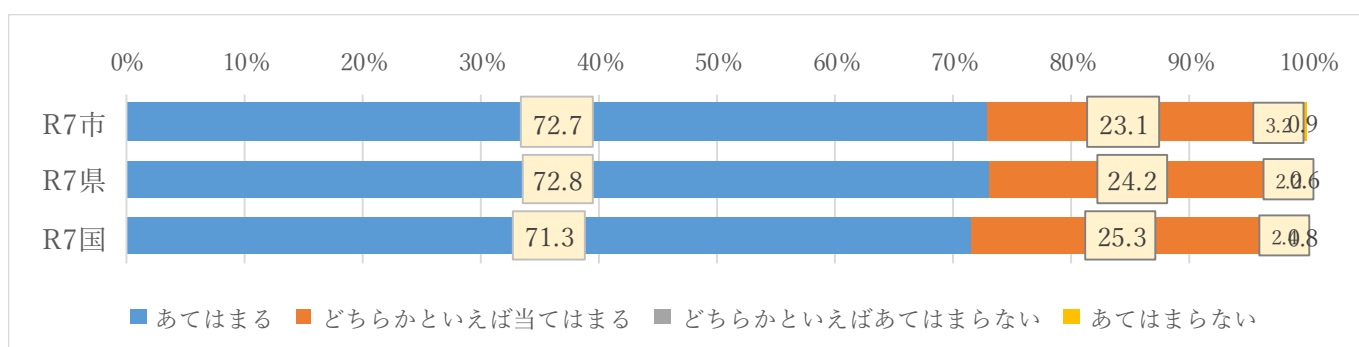
（２）生徒の状況を示す質問紙調査から見てくる能美市の中学校３年生の姿

① 自分にはよいところがあり、人の役に立ちたいと思う生徒が多くいます。

<自分には、よいところがあると思いますか>

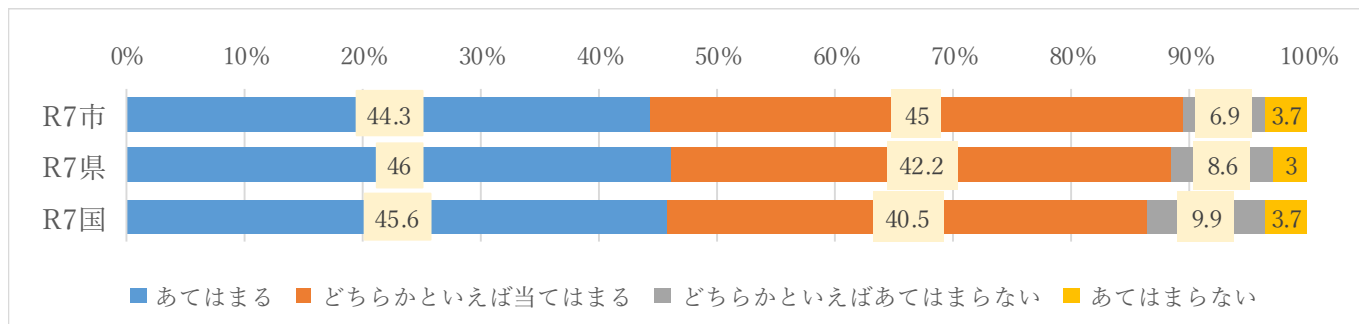


<人の役に立つ人間になりたいと思いますか>

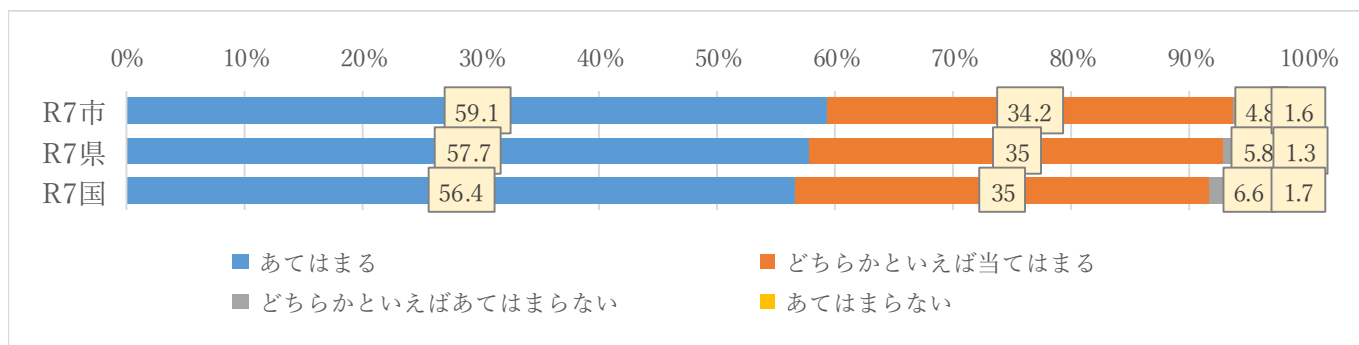


② 学校生活を楽しく過ごしている生徒が多くいます。

<学校に行くのは楽しいと思いますか>



<友達関係に満足していますか>

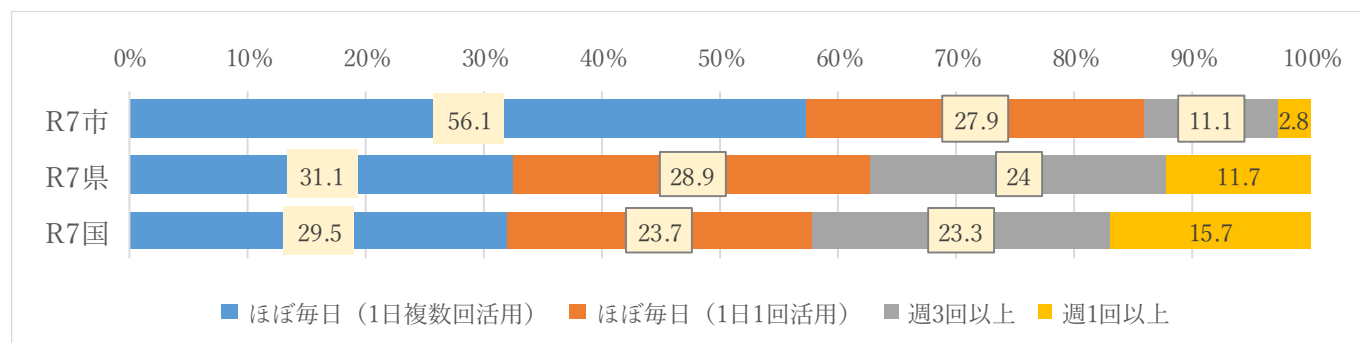


【質問調査で「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」など肯定的に回答している児童の割合】

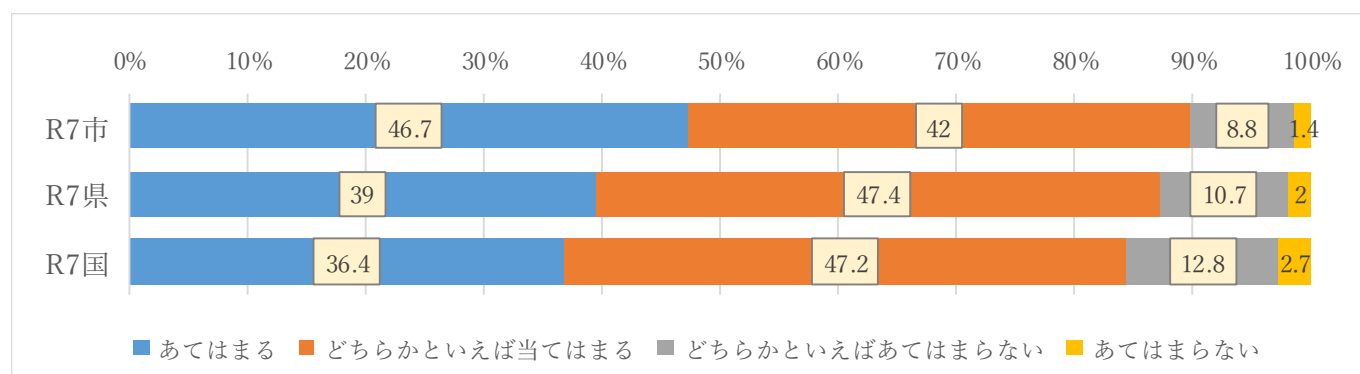
- ・ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか（市 92.6％）
- ・ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（市 92.6％）

③ 1人1台端末など ICT 機器を活用した授業の充実により、学びを深めている生徒が多数います。

<PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか>



<あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができますか>



【PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか】

（質問調査で「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」など肯定的に回答している生徒の割合）

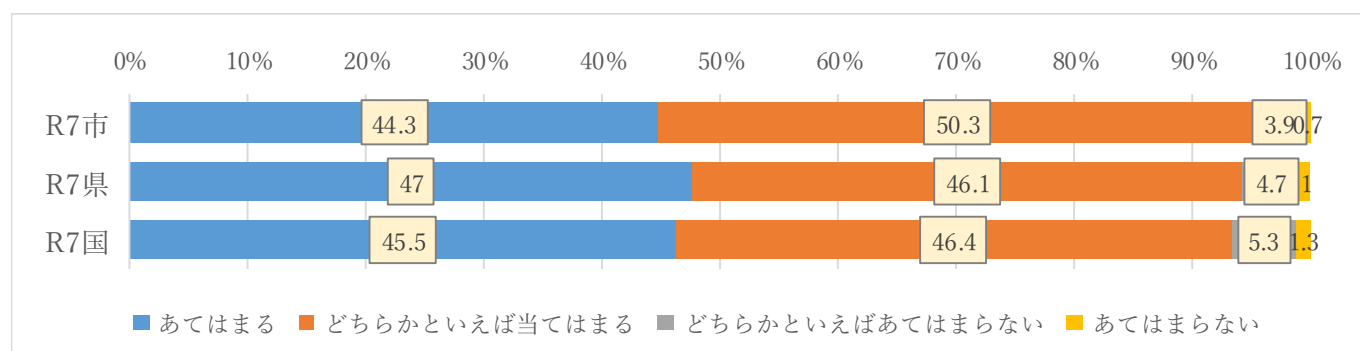
・インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる（市95.8%）

・学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる（市82.9%）

・情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる（市71.8%）

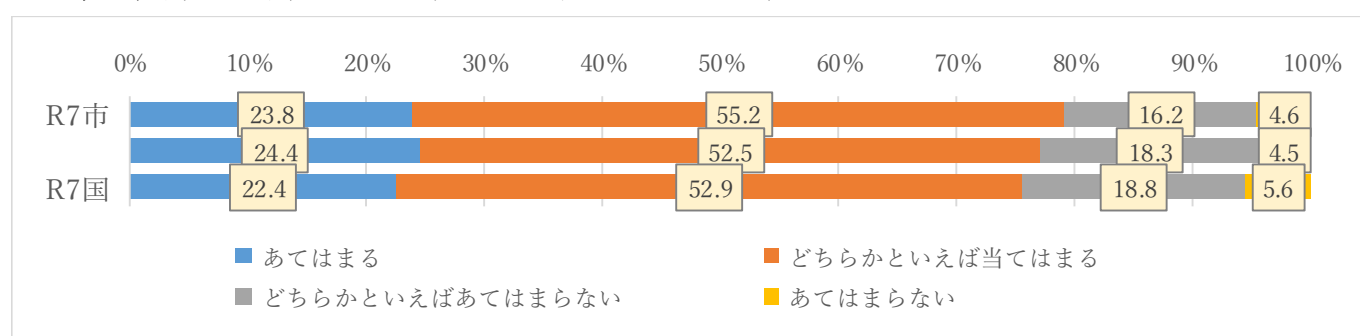
④話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする生徒が多数います。

<授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか>



⑤地域や社会を良くするために何かをしたいと思う生徒が多数います。

<地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか>



(3) 教科に関する調査・質問紙調査の結果をふまえて

能美市教育委員会及び能美市内各中学校において、これまで生徒の学力や学習状況を把握し、学力向上につながる取組を行ってきましたが、その取組の成果が少しずつ結果に表れてきていると捉えています。これまで行ってきた以下の取組を今後も継続して、地道に実践を重ねていくことで、能美市の生徒の力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

能美市教育委員会と学校が進めていくこと

■ 学校全体で取り組む学力向上

能美市教育委員会では、生徒が未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが重要だと考えています。

教科に関する調査の内容は、これからの生徒に必要な資質・能力が、教科の内容を通して表されたメッセージと捉えています。実施した当該学年に限定した結果とするのではなく、解答状況や誤答の傾向を設問ごとに丁寧に分析することで、学校全体で授業改善に取り組み学力向上を目指します。

■ 学びを自覚できる授業づくり

能美市の中学校では一人一人の資質・能力を伸ばせるように、下記のような授業を目指し学校全体で取り組みます。

- ・授業の目標を生徒と共有し、学ぶ目的が明確になっている授業
- ・各教科の知識や技能がしっかりと定着する授業
- ・自分の考えを持ち、生徒同士の学び合いで考えを広めたり深めたりできる授業
- ・思考・判断したことを、根拠や筋道を明確にして表現する力を育む授業
- ・視点を明確にして授業を振り返るなど、1人1人が個に戻って自分の学びを自覚できる授業
- ・1人1台端末やICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びが一体となって実現する授業

■ 学びの基盤づくり

学習の基盤をつくる活動を充実させ、周りの人を大切にし、互いに高め合っていく学級づくり・学校づくりを推進します。生徒が、安心して過ごせる学級・学校を目指していきます。また、デジタルの力でリアルな学びを支援するためのデジタル学習基盤を引き続き整えていきます。

家庭・地域の方々と協働して進めていきたいこと

■ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進

毎日決まった時間に寝起きすること、食事をきちんとすることは、生徒が学校生活を生き生きと過ごす基盤となります。規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」を家族みんなで心がけましょう。

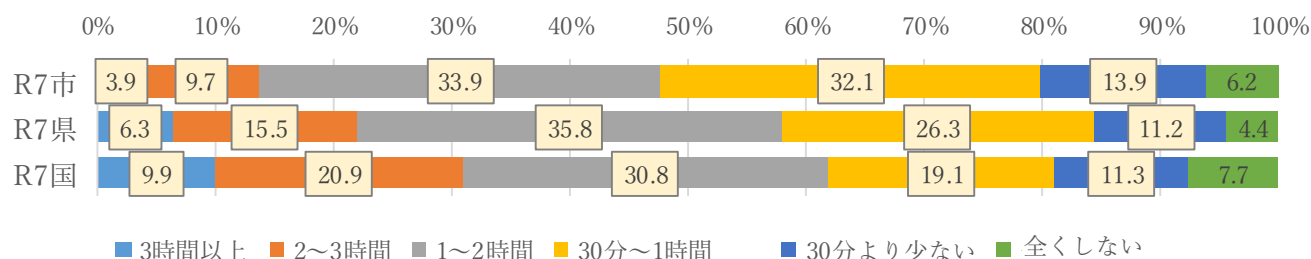
■ 節度あるメディアの使い方

メディアは本来、正しく利活用すべきものですが、適正な使い方ができないと生活が乱れてしまいがちです。テレビ・ゲームの時間やスマートフォンなどの使用と合わせて、ネットトラブルを防ぐためにも、家庭でしっかりと話し合ってルールを決めましょう。

■ 家庭学習の確立

質問調査では学校の授業以外に、平日に勉強時間が1時間未満の生徒は約5割となっており、課題の一つです。学校での学習内容を身につけるためにも、継続した家庭学習習慣を身に付けましょう。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



テレビやゲーム、スマートフォンの適切な使い方について、家庭でルールをつくり、予習や復習などの家庭学習を充実させましょう！